

船員保険法施行令中改正の件公布

船員保険法施行令中改正の件は昭和十七年七月一日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員保険法施行令中改正の件

(昭和十七年六月三十日)
勅令第六百四號

船員保険法施行令中左ノ通改正ス

第六條第一項中「保險院長官」ヲ「地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)」ニ改メ同條第三項ヲ削除ス

第三十六條第二項及第三項中「保險院長官」ヲ「地方長官」ニ改ム

第六十一條ニ左ノ一項ヲ加ス

同法第十二條第三項及第四項ノ規定中行政官廳トア

ルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ保險料滯納者ノ住所地

又ハ其ノ者ノ財產ノ在ル地ヲ管轄スル道知事又ハ州

知事若ハ廳長トス

第六十二條第二項中「第六條第三項ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トシ其ノ他ノ場合ハ」ヲ削除ス

附 則

本令ハ昭和十七年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十五年三月公布勅令第六十六號船員保険法施行令抄錄

第六條第一項及第三項

船員保険法第十二條第一項ノ規定ニ依リ保險料納付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ保險院長官ハ納付

義務者ニ對シ督促狀ヲ發スベシ

船員保険法第十二條第三項及第四項ノ規定中行政

官廳トアルハ保險料滯納者ノ住所地又ハ其ノ者ノ財產ノ在ル地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)トス

第六十二條第二項

本令中地方長官トアルハ第六條第三項ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トシ其ノ他ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長トス

船員保険法施行規則中改正

船員保険法施行規則中改正の件は昭和十七年七月一日付官報を以て厚生省令第三十二號として公布せられた。

尙、昭和十五年五月厚生省令第十七號中内地以外の地に於て爲す船員保険の療養の給付及傷病手當金の支給に關する件中改正の件も同日付官報を以て厚生省令第三十三號として公布せられた。

食糧管理法施行に關する農林省告示

食糧管理法の施行に關する細則は昭和十七年七月一日付官報を以て左の如く農林省より告示された。

◎ 農林省告示第四百六十號

食糧管理法施行ニ關シ左ノ通定ム

一 食糧管理法第四條第一項ノ政府ノ指定スル者左ノ如シ

(四) 昭和十四年十二月農林省告示第二十號(昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定ニ依ル内地水稻穀類及内地陸稻穀類ノ銘柄及等級並ニ最高販賣價格指定ノ件)但シ附記六ヲ除ク

(五) 昭和十六年九月農林省告示第六百八十五號(昭和十六年以降產内地玄米ノ種類、銘柄及等級並ニ最高販賣價格指定ノ件)但シ附記五ヲ除ク

(二) 軍
(二) 官廳

(三) 農林大臣ノ適當ト認ムル米麥取扱業者又ハ其ノ團體

(四) 其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル者又ハ其ノ團體

ノ團體

二 左ニ掲タル告示ニ依リ指定セラレタル價格ハ之ヲ

食糧管理法施行令第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタルモノト看做ス

(二) 昭和十四年十一月農林省告示第八號(昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定ニ依ル内地水稻

玄米及内地陸稻粳玄米ノ銘柄及等級並ニ最高販賣價格指定ノ件)但シ附記五ヲ除ク

(三) 昭和十四年十二月農林省告示第十八號(昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定ニ依ル内地水稻

粳及内地陸稻粳ノ銘柄及等級並ニ最高販賣價格指定ノ件)但シ附記六ヲ除ク

(四) 昭和十四年十二月農林省告示第二十號(昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定ニ依ル内地水稻

穀類及内地陸稻穀類ノ銘柄及等級並ニ最高販賣價格指定ノ件)但シ附記六ヲ除ク

(五) 昭和十六年九月農林省告示第六百八十五號(昭和十六年以降產内地玄米ノ種類、銘柄及等級並ニ最高販賣價格指定ノ件)但シ附記五ヲ除ク

(六) 昭和十六年九月農林省告示第六百八十六號(昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定ニ依ル昭和十六年以降產内地穀ノ種類、銘柄及等級並ニ最高販賣價格指定ノ件)但シ附記五ヲ除ク

(七) 昭和十六年九月農林省告示第六百八十七號(昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定ニ依ル内地穀ノ種類、銘柄及等級並ニ最高販賣價格指定ノ件)但シ附記五ヲ除ク

(八) 昭和十六年九月農林省告示第九百二十一號(米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依ル屑米ノ最高販賣價格指定ノ件)

(九) 昭和十五年九月農林省告示第四號外二件中左ノ通改正ス

(一) 昭和十五年九月農林省告示第四號(價格等統制令第七條ノ規定ニ依ル大麥及裸麥ノ販賣價格指定ノ件)附記ヘヲ削除ス

(二) 昭和十五年九月農林省告示第一號(價格等統制令第七條ノ規定ニ依ル小麥及小麥粉ノ販賣價格指

定ノ件)中一、小麥最高販賣價格附記八ヲ削除ス

(三) 昭和十七年九月農林省告示第三百二十四號(價格等統制令第七條ノ規定ニ依ル昭和十七年以降產

ノ大麥、裸麥及小麥ノ最高販賣價格指定ノ件)附記七ヲ削除ス

四 食糧管理法施行規則第三條但書ノ規定ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

(一) 當該市町村ニ販賣組合又ハ農業倉庫業者ナキ場合其ノ他同則第三條ノ規定ニ依リ管理米麥ヲ賣渡シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコト能ハザル特別ノ事情アル場合ニ於テ地方長官ノ指定スル者ニ當該米

麥ヲ賣渡シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲ストキ

(二) 地方長官ノ指示又ハ市農會若ハ町村農會ノ斡旋ニ依リ同一道府縣内ニ居住スル者ニ對シ其ノ種子トシテ賣渡ストキ

(三) 地方長官ノ承認ヲ受ケ契約栽培ヲ爲シタル釀造用米麥ヲ農會ノ斡旋ニ依リ當該契約ノ相手方ニ賣渡ストキ

(四) 其ノ他特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

(五) 食糧管理法施行規則第二條第一項但書ノ規定ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

四ノ(二)乃至(四)ノ場合

六 食糧管理法施行規則第四條第一項第二號ノ規定ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

(一) 四ノ(一)ノ場合

(二) 地方長官ノ指示又ハ市農會若ハ町村農會ノ斡旋ニ依リ同一道府縣内ニ居住スル者ニ對シ其ノ種子トシテ賣渡ストキ

(三) 市農會又ハ町村農會ガ乙管理米麥ノミノ割當ヲ爲ス市町村ニ於テ生產セラレタル米麥ヲ市農會又ハ町村農會ノ斡旋ニ依リ賣渡ストキ

(四) 其ノ他特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

七 食糧管理法施行規則第六條第三項ノ規定ニ依リ左ノ者ヲ指定ス

(一) 當該市町村ニ販賣組合又ハ農業倉庫業者ナキ場合其ノ他同則第三條ノ規定ニ依リ管理米麥ヲ賣渡シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコト能ハザル特別ノ事情アル場合ニ於テ地方長官ノ指定スル者ニ當該米

定スルコト左ノ如シ

(一) 販賣組合又ハ農業倉庫業者ニ付左ニ掲タル場合

(イ) 販賣ノ委託ヲ受ケタル米麥ニ付地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

(ロ) 地方長官ノ承認ヲ受ケ種子用米麥ヲ賣渡ストキ

(ハ) 事故ニ因リ損傷シタル米麥ニシテ急速處分ヲ要スルモノヲ賣渡ストキ

(ニ) 其ノ他特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

(二) 販賣組合聯合會ニ付左ニ掲タル場合

(イ) 販賣ノ委託ヲ受ケタル米麥ニ付地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

(ロ) 地方長官ノ承認ヲ受ケ種子用米麥ヲ賣渡ストキ

(ハ) 地方長官ノ承認ヲ受ケ當該道府縣内ニ配給スペキ酒米ヲ賣渡ストキ

(ニ) 事故ニ因リ損傷シタル米麥ニシテ急速處分ヲ要スルモノヲ賣渡ストキ

(ホ) 其ノ他特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ

(三) 全國購買販賣組合聯合會ニ付左ニ掲タル場合

販賣ノ委託ヲ受ケタル米麥ニ付農林大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ原料トシテ自己ノ設備ニ依リ加工ヲ爲ス

臣ノ承認ヲ受ケタルモノ

八 食糧管理法施行規則第六條第四項ノ規定ニ依リ指

九 食糧管理法施行規則第七條第一項ノ規定ニ依リ米

農林省令第八號第二項ノ規定ニ依ル昭和十六年以降
產内地糀ノ種類、銘柄及等級竝ニ最高販賣價格指定
ノ件）中生產道府縣ノ附記三ニ掲タル價格ニ十貫當
十八錢ヲ加算シタル額

七一乃至六ニ掲タル價格ハ水稻玄米及水稻糀ノ價格
トシ陸稻玄米及陸稻糀ノ價格ハ昭和十五年以前產粳
玄米及糯玄米ニ付テハ各一又ハ二ノ價格ヨリ一石當
二圓ヲ控除シタル額、昭和十六年產及昭和十七年產
玄米ニ付テハ三ノ價格ヨリ容量検査米ニ在リテハ一
俵（吹）當八十錢、重量検査米ニ在リテハ一俵（吹）當
四十錢ヲ控除シタル額、昭和十五年以前產粳糀及糯
糀ニ付テハ各四又ハ五ノ價格ヨリ一石當一圓ヲ控除
シタル額、昭和十六年產及昭和十七年產糀ニ付テハ
六ノ價格ヨリ十貫當二十錢ヲ控除シタル額

八 内地精米ニ付テハ昭和十六年九月農林省告示第六百
八十七號（昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定
ニ依ル内地精米ノ種類、銘柄及等級竝ニ最高販賣價
格指定ノ件）附記三ニ掲タル價格ニ六十延當四十錢
ヲ加算シタル額

九 昭和十六年以前產内地大麥及穀麥ニ付テハ昭和十
五年二月農林省告示第四號（價格等統制令第七條ノ規
定ニ依ル大麥及穀麥ノ販賣價格指定ノ件）附記ニノ
額

十 昭和十七年以前產内地大麥及穀麥ニ付テハ昭和十
七年五月農林省告示第三百二十四號（價格等統制令第
七條ノ規定ニ依ル昭和十七年以前產大麥、穀麥及小
麥ノ最高販賣價格指定ノ件）附記一乃至五ニ掲タル額
一農林省告示第一號（價格等統制令第七條ノ規定ニ
月）

依ル小麥及小麥粉ノ販賣價格指定ノ件）一、小麥最

高販賣價格中ノ實需者渡價格ノ額

十二 昭和十七年以降產内地小麥ニ付テハ昭和十七年

月五農林省告示第三百二十四號附記一乃至五ニ掲タル

價格ニ六十延當一圓當二十錢ヲ加算シタル額

十三 前各號ノ買入價格ハ政府ガ買入代價ヲ證券ヲ以

テ交付スル場合ニ於テハ前各號ノ額ニ現品受渡ノ日

ヨリ證券償還ノ日迄ノ金利ニ相當スル金額ヲ加算シ

タル額トス

前項ノ金利ハ食糧管理特別會計法第四條ノ規定ニ依

リ該證券ニ付政府ノ定ムル割引歩合トス

十四 前各號ノ買入價格ハ現品ノ品傷等ノ狀況ニ依リ

之ヲ減額スルコトアルベシ

◎ 農林省告示第四百六十二號

食糧管理法施行令第二條第二項ノ規定ニ依リ銘柄及等
級左ノ通指定ス

玄米 北海道三等、青森三等、岩手三等、宮城三等、茨
城三等、栃木三等、群馬三等、埼玉三等、千葉
三等、東京三等、神奈川三等、山梨三等、長野
三等、新潟三等、富山三等、石川三等、福井三
等、靜岡三等、愛知三等、岐阜三等、三重三等、
湖北三等、滋賀三等、京都三等、丹後三等、攝
津三等、大阪三等、兵庫三等、淡路三等、但馬
三等、奈良三等、和歌山三等、島根三等、島根
三等、兩備三等、美作三等、廣島三等、山口三
等、德島三等、香川三等、愛媛三等、高知三等、
福岡三等、佐賀三等、長崎三等、熊本三等、城

玄麥 東三等、大分三等、宮崎三等、鹿兒島三等
大麥 各道府縣產三等

穀麥 各道府縣產三等

小麥 各道府縣產三等

農地開發法に依る法人稅及營業稅の免除に關する件公布

農地開發法に依る法人稅及營業稅の免除に關する件
については昭和十七年七月四日付官報を以て左の如く
公布せられた。

農地開發法第四十二條ノ規定ニ依リ

法人稅及營業稅ノ免除ニ關スル件

（昭和十七年七月四日
農林省令第五十四號）

農地開發法第四十二條ノ規定ニ依リ法人稅及營業稅ノ
免除ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 農地開發法第四十二條第二項ノ各事業年度ノ
資本金額ハ各月末ニ於ケル拂込済出資金額及積立金
額ノ月割平均ヲ以テ之ヲ計算ス

前項ニ於テ積立金トハ積立金其ノ他名義ノ何タルヲ

問ハズ農地開發營團ノ各事業年度ノ所得中其ノ留保
シタル金額ヲ謂フ

法人稅及臨時利得稅トシテ納付スベキ金額ハ前項
留保シタル金額ニハ之ヲ算入セズ

第二條 農地開發法第四十二條第二項ノ資本金額ニ對
スル年百分ノ十ノ割合ノ金額ハ當該事業年度ノ月數
ヲ乗じテ之ヲ計算ス

前項ノ月數ハ曆ニ從ヒ之ヲ計算シ一月未滿ノ端數ヲ